

第5回 乗員政策等検討合同小委員会

ピーチ・アビエーション及びバニラ・エアにおける 計画減便等について

平成26年5月21日

航空局

○ピーチ・アビエーション

減便時期	減便数	影響旅客数
5月、6月	448便 (11.1%)	16,393人
7月、8月	894便 (18.8%)	7,801人
9月、10月 (想定)	786便 (19.1%)	3,015人
合計	2,128便 (16.5%)	27,209人

※9月、10月の減便対象便については、7月上旬までに確定予定。

○バニラ・エア

減便時期	減便数	影響旅客数
6月	154便 (21.4%)	2,551人

※7月以降は必要な乗員数を確保し、計画どおり運航する方針。

※括弧内は、計画便数に対する減便割合

APJ252便重大インシデントの概要

1. 発生日時／場所 平成26年4月28日 11時47分頃 那覇空港進入中
2. 運航者 ピーチ・アビエーション
3. 航空機 国籍／登録記号:JA802P 型式:エアバス式A320-214型
4. 出発地及び最初の着陸地 新石垣空港→那覇空港
(便名:APJ252便)
5. 搭乗者 59人(乗務員:6人、乗客:53人)
6. 概要 当該機は、4月28日11時02分新石垣空港を離陸し、那覇空港に進入中、対地接近警報装置が作動したため緊急の回避操作(機首上げ操作)を行い、進入復行した。その後、12時10分同空港に着陸した。
7. 負傷者 なし
8. 機体の損壊等 なし
9. 備考 本件は、航空法施行規則第166条の4第5号「飛行中において地表面又は水面への衝突又は接触を回避するため航空機乗組員が緊急の操作を行った事態」であることから、重大インシデントに該当する。



エアバス式A320-200型主要諸元

全幅×全長	37.6 m × 33.9 m
最大離陸重量※	73.5 ton
座席数※	179 人
巡航速度	マッハ 0.80
航続距離※	3,310 km

※最大離陸重量、座席数及びについては、代表的な値

※ 重大インシデントとは、事故が発生するおそれがあると認められる事態(航空法第76条の2)であり、運輸安全委員会が調査を行うことが規定されている(運輸安全委員会設置法第2条及び第5条)。